

宇都宮市立鬼怒中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい」「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」に対する肯定率は、市・県を上回っている。今後も意欲をもって学習に取り組めるように指導していく。

○「家で、自分で計画を立てて勉強している」に対する肯定率は、市・県を上回っている。しかし、「家で、学校の宿題をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」の肯定率は市・県とほぼ同じなので、家庭学習ノートの提出や振り返りを継続して行うことで家庭学習の充実を図る。

●「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」の肯定率は、市・県をやや下回っている。「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」の肯定率は市・県を上回っているため、自分の考えを述べるだけでなく友達の考えを聞くことも大切にして、双方向のコミュニケーション力を高めさせていく。

●「学校のきまりを守っている」の肯定率は、市・県を下回っている。9割以上の生徒が肯定しているが、決まりを守ることの重要性を折に触れて説くことで、さらに規範意識を高めていく。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
○学力向上を図るため、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化、基礎・基本の定着度を高める。	○自ら学習する態度の育成を図るため家庭学習の適切なやり方及び学習時間の確保についての指導。 ○基礎的な力を身につけ、学習意欲を喚起させるための、授業展開の工夫	○家庭学習力についての肯定率を見ると「家で自分で計画を立てて勉強している」については、市・県を上回っている。しかし、「家で、学校の授業の復習をしている」の肯定率は市・県とほぼ同じである。 ○「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」に対する肯定率は市・県を上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
○「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」に対する肯定率が市・県を下回っている。	○話し合い活動の際、友達の話や意見を聞く態度について具体的な指示を出し、聞く姿勢に対する指導を充実	○授業における意見の聞き方、取り組む態度について全教科で共通理解を図り、継続して指導する。 ○授業で話し合い活動を行う時に、進んで自分の考えを述べ、友達の考えを真剣に聞くよう指導することで、コミュニケーション能力の育成を図る。